

令和2年11月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

## 令和2年11月定例教育委員会会議録

### 1 開催日時、会場

令和2年11月24日（火） 13時30分～15時50分  
川西庁舎 1階 地域活動室

### 2 出席

蔵品泰治教育長、佐藤美佐子委員、庭野三省委員、浅田公子委員、廣田公男委員

### 3 説明のため出席した者

子育て教育部長（樋口幸宏）、文化スポーツ部長（金澤克夫）、教育総務課長（富井陽介）、学校教育課長（山本平生）、指導管理主事（佐藤研一郎）、生涯学習課長（鈴木規幸）、生涯学習課長補佐（樋口具範）、文化財課長（佐野誠市）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）、情報館長（長谷川智）、森の学校キョロロ副館長（小海修）

### 4 会議の内容

#### （1）会議録署名委員の指名

署名委員：廣田委員、佐藤委員

#### （2）報告事項

##### ① 共催・後援等報告

・資料のとおり

##### ② 報告第1号 損害賠償について

蔵品教育長

・事務局の説明を求めた。

長谷川情報館長

・資料に基づき説明

蔵品教育長

・再発防止の対策は考えているのか。

長谷川情報館長

・委託して草刈り作業しているもので、近くの車の前に塀などを置き安全確保していたが、石が隙間を飛んで遠くの車に当たり損傷した。今後は作業する場所の付近には駐車しないように工夫して作業するよう指導した。

（以上の質疑のあと了承した）

##### ③ 報告第2号 「十日町市社会教育・公民館活動のあり方について」の提言書について

蔵品教育長

・事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長

・資料に基づき説明

#### 庭野委員

- ・地域支援員が居ない地域もあると思うが、公民館に配置されている地域支援員の活動が非常に大事である。公民館活動とは違うと思うが、活性化につながるように思う。公民館との関わりはどうか。

#### 鈴木生涯学習課長

- ・地域おこし協力隊や地域支援員は、旧十日町市の地区館には配置されている。地域自治組織の事務局長も地区館内に居ることもある。NPO法人も市内で活動している。今後は、地域課題を見つけるにも、それらの人たちと連携、協力をしっかりと行うべきであると提言された。

#### 廣田委員

- ・社会教育委員と公民館運営審議会委員が兼務することについて、課題にはそれぞれの職務が違う中で兼務することが適正なのか検討する必要があると記載があり、提言には特に記載が無いようだが、実際に議論されたのか。

#### 鈴木生涯学習課長

- ・平成28年度に県内の兼務状況を調べて検討しており、総務文教常任委員会に報告した際に、再度検討するよう要望されたため、提言に加えている。社会教育委員会が所管する範囲が広く、公民館の他に博物館や図書館も含むのだが、現在ではそれぞれの分野で専門的な審議会が設置されている。今後、社会教育委員会が、重点を置くべきは公民館であるという考え方になってきた。兼務についての職務内容ということより、各分野についての検討を行うことになった。

#### 廣田委員

- ・組織図の中の社会教育委員の位置付けは、どうか。

#### 鈴木生涯学習課長

- ・公民館運営審議会は、公民館だけになるが、文化芸術になると生涯学習課であり、社会教育委員の分野になる。それぞれを併用しながら、兼務により公民館事業と文化芸術の守備範囲をしっかりと見ていく方向になる。

#### 蔵品教育長

- ・設置について、法律や条例ではどのように記載されているのか。

#### 鈴木生涯学習課長

- ・法律上は、社会教育委員会及び公民館運営審議会を「置くことができる」と規定されている。しかし、市条例では「置く」となっている。どちらかが不要ということではなく、両方置いて兼務するということになっている。

#### 蔵品教育長

- ・条例が、法律と同じく「置くことができる」となっていれば、社会教育委員会及び公民館運営審議会のどちらかを置かないことになるのか。

#### 鈴木生涯学習課長

- ・先程答えたとおり、社会教育委員会は公民館運営審議会と文化芸術を包括している

ので、残すのであれば社会教育委員会になると思う。

#### 庭野委員

- ・前回の教育委員会で紹介のあった昔ばなしの冊子について、公民館職員は知らなかった。公民館職員等と「地域自治組織の地域コミュニティとより一層の連携・協力」と提言されているが、実際にはまだうまく連携されていないのではないかと。

#### 佐野文化財課長

- ・地域とはなかなか連携が取れていないのも事実であり、公民館と連携ができていれば、先程の冊子も広く知らしめることができたのではないかと。

#### 蔵品教育長

- ・公民館活動と地域の自治活動があり、自治活動の方で関係を深めて、事業を市民に近いところで、計画し実行していきたいという願いだと思ふ。

#### 鈴木生涯学習課長

- ・地域住民主体の組織によるコミュニティセンター化を進める、と記載されている。横の連携を地域でできるようになれば、より良いということで提言されたものと思ふ。

#### 庭野委員

- ・先般、大地の芸術祭の作家を観光交流課の職員と案内した。その職員は、中条地域の担当ということだが、地域の人は知らない人が多い。連携と言っても、周知するのは難しいことである。

#### 佐藤委員

- ・公民館という意識が薄れてきて、子どもたちや若い人たちが、公民館に足を運ぶ機会が少ないように感じる。地域の人が使いやすく、地域の結束や活力を活かすには、コミュニティセンター化した方が良いという意見が強いような感じを受けるが、公民館として残せるのかどうか。

#### 鈴木生涯学習課長

- ・第6回の検討委員会では、柏崎市と長岡市のコミュニティセンターを視察に行った。委員からは、コミュニティセンターの中の一部門で、生涯学習を行うという意見が強くなった。生涯学習は、学校教育と家庭教育以外は何でもというところがあるが、地域自治組織や振興会は福祉、介護、防災、環境等の各分野を網羅した部会を持ちながら活動しているということから提言されたと思ふ。地域自治組織の了解を得ながら、検討していかなければならない。

#### 浅田委員

- ・公民館が担う内容が幅広く、直接公民館に行かなくても住民が携わっている事項が多いと思ふ。細かいところは組織の会長などに分かるように説明して、その人が住民に説明できるようにすれば、理解が進んで情報のアンテナが立ち、イベントなどに人が集まるようになると思ふ。市報で皆さんに周知できるようになると思ふ。

#### 鈴木生涯学習課長

- ・12月の議会説明には、踏み込んで具体的なものを示す予定である。しかし、変わ

るまでに、柏崎市や長岡市でも5年から10年かかったと聞いている。説明を繰り返し徐々に理解を得ながら、進めなければならないと思っている。

(以上の質疑のあと了承した)

④ 報告第3号 修学旅行キャンセル料等の補助について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

⑤ 報告第4号 学校給食費公会計化について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・公金として収入するには条例の定めが必要で、11月に税目追加作業とあるのは、税条例の改正があるのか。費目は何になるのか、その条例の根拠は何か。

山本学校教育課長

- ・収納の費目は、学校給食費となる。税ではない。

金澤文化スポーツ部長

- ・現在でも、一般会計の歳入の諸収入としており、税ではなく諸収入として納めていただくことになる。

廣田委員

- ・口座に金額が足りず未納だった場合に、督促するということは義務を果たしていないということになるが、何を根拠にするのか。

富井教育総務課長

- ・給食費は実費の徴収になるので、法的には民事債権ではないか。民事債権であれば、民法、民事訴訟法の規定等により、一般の貸付金などの徴収と同じ取扱いとなり、それを市の公会計の中で行うものという理解ではないかと思う。

庭野委員

- ・学校との連携による納付指導とは、どういうことをするのか。これが、学校職員の負担にならないのか。

山本学校教育課長

- ・市が、未納の家庭と直接連絡を取る場合に、どういう家庭なのかを調査してから連

絡を取ることになる。学校職員に徴収させるのでは、公会計化の意味が無いため、教育委員会で情報を得てから保護者に話をしたいと考えている。

庭野委員

- ・未納の保護者を学校に呼んで話をすることはないということか。

蔵品教育長

- ・公会計化については、最初に教職員の多忙化解消ということがあって進めるものである。

庭野委員

- ・分かりやすいように、お知らせしてほしい。

(以上の質疑のあと了承した)

⑥ 報告第5号 令和2年度第1回十日町市総合教育会議の開催について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

富井教育総務課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく了承した)

⑦ 報告第6号 令和2年度地方教育行政功労者表彰の受賞について

蔵品教育長

- ・事務局の説明を求めた。

富井教育総務課長

- ・資料に基づき説明

蔵品教育長

- ・私事であるが、11年の在任という中で表彰をいただいた。皆様のご支援をいただき、務めることができたことをありがたく思う。

(特に質疑等なく了承した)

(3) 議決事項

① 議案第1号 令和2年市議会第4回定例会提出補正予算案の承認について

蔵品教育長

- ・議案第1号を上程し、事務局の説明を求めた。

富井教育総務課長

- ・資料に基づき説明

山本学校教育課長

- ・資料に基づき説明

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

佐野文化財課長

- ・資料に基づき説明

小海森の学校キョロ副館長

- ・資料に基づき説明

庭野スポーツ振興課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく決定した)

② 議案第2号 指定管理者の指定について

蔵品教育長

- ・議案第2号を上程し、事務局の説明を求めた。

庭野スポーツ振興課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく決定した)

③ 議案第3号 指定管理者の指定について

蔵品教育長

- ・議案第3号を上程し、事務局の説明を求めた。

庭野スポーツ振興課長

- ・資料に基づき説明

庭野委員

- ・クロアチアピッチの芝生で、子どもたちが遊ぶことができるのか。

庭野スポーツ振興課長

- ・使用は可能である。一般市民に開放して利用されている。ただし、芝生の養生の関係があり、春から秋までのシーズン中にいつでも使えるわけではない。

(以上の質疑のあと決定した)

④ 議案第4号 越後妻有文化ホール・サポーターズ「段サポ」実施要綱の一部を改正する告示について

蔵品教育長

- ・議案第4号を上程し、事務局の説明を求めた。

鈴木生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

(特に質疑等なく決定した)

⑤ 議案第5号 十日町市越後松之山「森の学校」キョロロ職員住宅管理使用規程を廃止する訓令制定について

蔵品教育長

- ・議案第5号を上程し、事務局の説明を求めた。

小海森の学校キョロロ副館長

- ・資料に基づき説明

廣田委員

- ・その職員住宅に住んでおられる方は居るのか。

小海森の学校キョロロ副館長

- ・現在も職員が家族で住んでいる。住宅の処分については、財政課を通して公売にする。この住宅は一軒家であり、住んでいる職員が購入を希望している。

(以上の質疑のあと決定した)

5 その他

① 最近の動きについて

- ・教育長、各部長、各課長等が資料に基づき説明

② 12月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

③ 次回の教育委員会の開催日時

- ・12月定例会 12月24日(木) 14時40分から開催することを確認した。

④ 教育委員会学校視察について

以上で、15時50分に蔵品教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記